

期末の事業概況（連結）

1．連結経営成績に関する定性的情報

経常収益は、保険引受収益が前連結会計年度に比べ210億円増加の2,704億円（うち正味収入保険料2,702億円）、資産運用収益が前連結会計年度に比べ100億円増加の270億円、その他経常収益が2億円となった結果、前連結会計年度に比べ311億円増加の2,977億円となりました。一方、経常費用は、保険引受費用が前連結会計年度に比べ223億円増加の2,803億円（うち正味支払保険金1,910億円）、資産運用費用が前連結会計年度に比べ1億円減少の29億円、営業費及び一般管理費が前連結会計年度に比べ14億円増加の143億円、その他経常費用が39百万円となった結果、前連結会計年度に比べ236億円増加の2,976億円となりました。

以上の結果、経常利益は、前連結会計年度に比べ74億円増加の88百万円となりました。経常利益に特別損益、法人税等合計を加減した親会社株主に帰属する当期純損益は、前連結会計年度に比べ50億円増加の21億円の損失となりました。

2．連結財政状態に関する定性的情報

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ176億円増加し7,116億円となりました。また、当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末に比べ128億円減少し1,671億円となりました。

期末の事業概況（単体）

1．経営成績に関する定性的情報

経常収益は、保険引受収益が前期に比べ121億円増加の2,082億円（うち正味収入保険料2,080億円）、資産運用収益が前期に比べ45億円増加の109億円、その他経常収益が2億円となった結果、前期に比べ167億円増加の2,194億円となりました。一方、経常費用は、保険引受費用が前期に比べ152億円増加の2,035億円（うち正味支払保険金1,500億円）、資産運用費用が前期に比べ8億円増加の16億円、営業費及び一般管理費が前期に比べ2億円増加の96億円、その他経常費用が32百万円となった結果、前期に比べ163億円増加の2,149億円となりました。

以上の結果、経常利益は、前期に比べ3億円増加の44億円となりました。経常利益に特別損益、法人税等合計を加減した当期純利益は、前期に比べ2億円減少の14億円となりました。

2．財政状態に関する定性的情報

当期末の総資産は、前期末に比べ131億円減少し4,923億円となりました。また、当期末の純資産は、前期末に比べ131億円減少し1,144億円となりました。